

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月17日（木）

2 確認箇所

- ・新事務本館2階 緊急時対策室
- ・Fタンクエリア
- ・増設／高性能多核種除去設備サンプルタンクエリア

3 確認項目

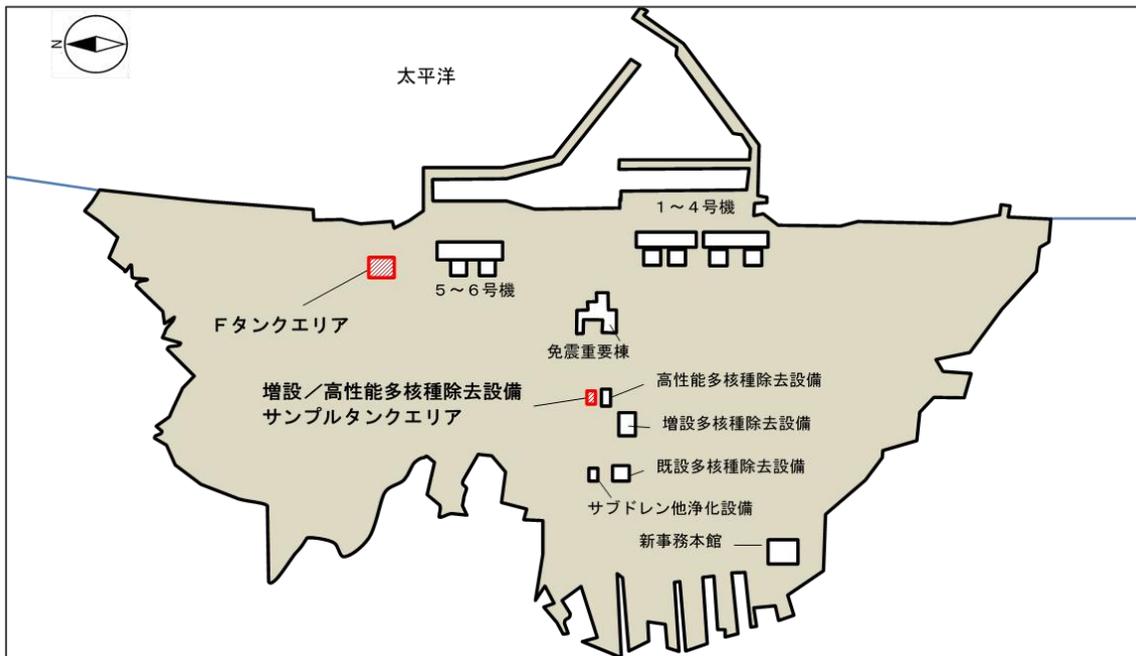
令和4年3月16日に発生した地震後の緊急時対策本部での情報収集等

4 確認結果の概要

令和4年3月16日午後11時36分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生したことから、新事務本館2階緊急時対策室において、東京電力社員が地震後に実施していた構内パトロールの進捗状況を確認するとともに構内の状況を確認した。（図1）

- ・東京電力による構内パトロールにて、Fタンクエリアに設置されているタンクの連結管の保温材内に溜まり水が確認されたため、現地確認を実施したが、溜まり水は保温材に留まっており、床面には滴下していなかった。現場にいた東京電力社員によると、溜まり水の発生原因を調査しているとのことであった。（写真1）
- ・増設多核種除去設備等の処理水を一時貯留する増設・高性能ALPSサンプルタンク*において地震動によるタンクの位置ずれが確認されたことから、現地確認を実施した。一部のタンクに位置ずれを確認したが、目視確認した範囲において、タンク及び配管からの漏えいはなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、構内パトロールの結果、構内に設置している複数のタンクにおいて地震動によるタンクの位置ずれが確認された他、5／6号機原子炉建屋最上階の使用済燃料プールからの溢水等が確認されたが、プラント関連パラメータ、発電所敷地境界ダストモニタ指示値等については異常が確認されていないとのことであった。

※ 当該タンクなど比較的大型のタンクについては、耐震性確保の観点から、基礎に固定せず、平置きして一定以上の力が加わった際に動くことにより転倒や損傷を防ぐよう設計されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
Fタンクエリア外観
(北東側から撮影)



(写真1-2)
保温材内部に溜まり水が確認された
連結管 (Fタンクエリア)



(写真 2 - 1)
増設／高性能多核種除去設備
サンプルタンク外観
(北東側から撮影)



(写真 2 - 2)
位置ずれがあったタンクの一例
(高性能多核種除去設備
サンプルタンク (C))